



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: ビー さん からの質問  
サルはしっぽでのぼるんですか?

ご質問、ありがとうございます。

サルの中には、お尻に長いしっぽがある種類もいますね。イラストでもしっぽだけでぶら下がっているサルが描かれることがあります。今回は、サルのしっぽについて解説をしていきます。



実は、しっぽのあるサル全てがしっぽを使って木に登るわけではありません。当園で飼育しているサルの中でしっぽを使って木に登ることができるのは、「ジェフロイクモザル」という種類のサルだけです。ジェフ

ロイクモザルは主に中米に生息するサルの仲間で、しっぽを5本目の手足のように器用に使い、木に登ったり、物をつかんだりします。また、尻尾だけで木にぶら下がることもできる力強いしっぽです。

クモザルのしっぽは、先端の裏側に毛が生えておらず、人間の指紋のような「尾紋」がついています。尾紋は指紋と同じく滑り止めの役割をしているので、木にぶら下がる時など、何かをつかむのに役立ちます。

ジェフロイクモザルはとてもいたずら好きな性格で、近くで飼育員が作業をしていると柵の隙間からしっぽを出し、そっと飼育員に触ってくるのでびっくりすることもあります。



この他にも、ライオンにそっくりなしっぽを持つ「シシオザル」や、シマシマ模様が特徴的な「ワオキツネザル」、木々の間を飛ぶたびに飾り毛が揺れる「アビシニアコロブス」など、当園にはしっぽの長いサルの仲間がたくさんいます。それぞれにしっぽの形や役割が違っているので、ぜひしっぽにも注目してみてくださいね。